

「おどかす」と「おびやかす」

「おどかす」「おびやかす」は、ともに「脅かす」と書くので、読者は文脈によってどちらに読むかを判断する。一方、著者は「脅やかす」と書くことによって誤読を避けることもできる。

(1) おどかす (脅かす)

- ①怖がらせる、脅迫する、おどす
 - ②びっくりさせる、驚かす
- 脅迫、威嚇の意味で使われることが多い。

(2) おびやかす (脅かす)

- ①おどかして恐れさせる、怖がらせて従わせる
 - ②危険な状態にする、危うくする
- 脅威の意味で使われることが多い。

使用例

- a.強盗はナイフを見せて店員を脅かした (おどかした)。
- b.大声を出して子供を脅かす (おどかす)。
- c.核兵器が隣国の安全を脅かす (おびやかす)。
- d.インフレが家計を脅かす (おびやかす)。
- e.新興勢力の台頭によりナンバーワンの座が脅かされる (おびやかされる)。

似たような表現で「おどす」「おどろかす」というものもある。

(3) おどす (脅す、嚇す)

- 「おどかす」の①とほぼ同じ意味で用いられる。
- a.「暴力団におどされた」という通報があった。

(4) おどろかす (驚かす、愕かす)

- 「驚く」の他動詞の形である。「おどかす」の②の意味で使われ、①の意味は薄い。
- b.ビックリ箱で友達を驚かせた。
 - c.子供は、数学のテストで満点をとって親を驚かせた。